

紀の国わかやま大会リハーサル大会競技実施要項

1 競技運営

(1) 個人競技

- ア 陸上競技、水泳、フライングディスクは2種目まで出場できる。
また、陸上競技及び水泳はこれに加えて、リレー1種目に出場できる。
なお、フライングディスクの2種目とは、アキュラシー1種目とディスタンスの計2種目である。
- イ 競技は、男女別に実施する。ただし、陸上競技の4×100mリレー、水泳の200mリレー及び200mメドレーリレー並びにフライングディスクのアキュラシー種目は除く。
- ウ 競技の組は8名以内とし、予選を行わず1回の決勝競技とする。ただし、卓球は1組4名以内とし、競技方法は別に定める。
- エ 出場選手が少ない競技・種目は、異なる障害区分の選手または他の年齢区分の選手が同時に競技を行うことがある。この場合、順位の決定及び表彰は、障害区分及び年齢区分別に行う。

(2) 団体競技

- ア バスケットボール及びバレーボール（聴覚障害者・知的障害者）は男女別、バレーボール（精神障害者）は男女混合とし、他の競技は男女混合を可とする。
- イ 試合は、原則として全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則1（2）に規定する近畿ブロック府県・指定都市チーム対抗とし、競技別実施要領に定めるところにより実施する。
- ウ 競技日程に支障がない範囲で、交流試合を実施することができる。

(3) 実施態度

実施態度は、主催者が競技運営主管団体と協議のうえ決定する。

(4) 開始式・表彰式

ア 開始式

実施する場合は、原則、競技開始前に行う。

イ 表彰式

- (ア) 陸上競技、水泳及びフライングディスクは、随時表彰を行う。
- (イ) 上記以外の競技は、競技終了後に行う。

(5) 競技記録及び成績の発表等

競技記録及び成績は、紀三井寺公園陸上競技場内の所定の場所において、主催者が記録掲示板に掲示する。

また、各競技の記録及び成績は、会場内の記録速報板等に掲示する。

(6) 抗議

- ア 競技上の抗議については、平成27年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）に定めるところによる。
- イ 選手の出場資格、組合せ及び障害区分の適用については、抗議することはできない。

2 表彰

(1) 個人競技

各競技の組（組に異なった表彰区分がある場合は、その表彰区分による。）ごとに1位から3位までの選手にメダルを授与する。

(2) 団体競技

1 位から 3 位までのチームに賞状を、そのチームのそれぞれの選手にメダルを授与する。

3 参加申込み

(1) 申込方法

申込者は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、申込むものとする。

(2) 申込期限

平成 27 年 1 月 16 日（金）必着とする。

(3) 参加申込書の提出先及び問い合わせ先

申込者は、封筒に「参加申込書在中」と朱書し、参加申込書を下記へ送付すること。

〒640-8585

和歌山市小松原通 1-1

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局

和歌山県国体推進局障害者スポーツ大会課 大会業務班

TEL: 073-441-2571（直通）

FAX: 073-427-5388

(4) 申込後の変更の取扱い

原則として、申込締切後の変更は認めない。

4 番号布

(1) 個人競技に出場する選手は、競技用の服装に必ず番号布を着けるものとする。ただし、水泳に出場する選手は、IDカード（所属選手団、氏名、出場種目等を記載したもの）をもって番号布に代える。

(2) 番号布（IDカードを含む）は主催者が準備し、選手へ配付する。

(3) 番号布の布地の色は、障害別に次のとおり色分けし、数字は黒色とする。

なお、障害が重複している場合には、出場する障害部門の色の番号布を使用し、布の下端 5 cm に他の重複する障害部門の色を表示する。

ア	肢体不自由者	白
イ	視覚障害者	薄緑
ウ	聴覚障害者	黄
エ	知的障害者	桃
オ	内部障害者	水色
カ	精神障害者	薄茶

5 競技場への入退場

(1) 係員の指示に従うものとする。

(2) 出場選手の介助等のため競技場内に入場できる者は、あらかじめ主催者の許可を受けた者に限る。

6 その他

この要項に定めるもののほか、競技運営上必要な事項は、競技ごとに競技運営主管団体と協議のうえ、競技別実施要領に定める。